

情熱 境

JOUNETSU-SAKAI

家族思いの歌うま薬剤師 小島千賀子



NHK のど自慢

祝 グランド チャンピオン 大会

【略歴】

◆小島千賀子（こじまちかこ）
昭和58年9月25日境町で生まれる。森戸小学校、境第二中学校、常総学院高校、城西大学卒業後、薬剤師として坂東市に勤務する。常総市で開催された「NHKのど自慢」に、約1,100人の応募の中で当選・出場し、見事チャンピオンに選ばれた。さらに、グランドチャンピオン大会にも抜擢され、出場を果たした。

NHK のど自慢より写真提供

「美しく聡明な歌声に会場もうっとり」



「NHKのど自慢」グランドチャンピオン大会にて、心地よく響き渡る歌声を披露した小島さん。審査員から「突き抜けるような歌。歌に入った瞬間に顔つきが変わった。この人は歌手だ!」と高い評価を受けました。出場時には、薬剤師として働く様子や、週末に両親の農作業を手伝う様子などが流され、「歌が恋人? 家族思いの薬剤師」のキャッチコピーで登場。そんな小島さんの素顔とは?

◎歌が好きになったきっかけは?

我が家は、両親も兄弟も歌が好きで、自然と子どもの頃からいろんな歌を歌っていましたし、家族でカラオケに行ったりもしていました。いまでも、仕事帰りに両親と私の3人でカラオケに行くこともあります。上手になるために特別なレッスンをした、ということはないんですよ。

◎NHKのど自慢出場について

病気の友人を励ましたいとの思いから、絢香さんの「はじまりのとき」を歌っていました。まさか優勝できるなんて思ってもみませんでした。

グランドチャンピオン大会は、一年間の放送で46人のチャンピオンがいるな

◎歌をうまく歌うコツは?

歌いやすいキーで歌うことは大切だと思います。あとは、音楽を聞いて自分の声も聞く。片方の耳にヘッドフォンをあてて、音楽を聞きながら一緒に歌ってみたり、カラオケの採点機能で自分の音程が合っているか確認したりします。

今後、大会の予定はないそうですが、素敵な歌声は心癒されます。快活で明るい魅力的な女性でした。



優勝トロフィー（右）とグランドチャンピオン大会出場記念の盾

情熱「境」では、境町在住・出身の方、また境町に縁のある方で、芸術、音楽、スポーツ等、様々な分野で活躍されている方を紹介します。第16回は、「NHKのど自慢」で優勝し、グランドチャンピオン大会への出場も果たした小島千賀子さんにお話を伺いました。

株式会社舞台ファームとの包括連携協定締結

町の次世代農業者の育成 農業リノベーションに挑戦!

町では、農業の自由化を見据えた次世代型の農業経営を取り入れようと、農業生産法人「株式会社舞台ファーム」(仙台市)と「農業担い手育成・農業振興に関する包括連携協定」を締結しました。町の農業を強靱化するために、今後様々な施策に取り組んでいきます。



締結式にて。株式会社舞台ファームの針生信夫代表（左）と橋本町長。協定締結式には、地元土地改良区の役員やさかい4Hクラブの若手農業者も出席。

生産者の声



4Hクラブ会長
荒川 征和 さん

自分は親から受け継いだ技術だけで農業をやってきましたが、今回の協定を機に他のメンバーや新たに農業を始める若手の人たちとともに、先進的な農業の技術や効率化を学びたいです。



4Hクラブ元会長
稲垣 征利 さん

農家は、良い時と悪い時の差が激しいので、跡継ぎが育たないという面があると思うのですが、舞台ファームさんと協力していくことで、外から見た境町の現状などをしっかり把握し、町の農家全体で良い方向に進んでいけたらと思います。

株式会社舞台ファームは、米や野菜の生産、加工販売の6次産業化を推進し、農業分野の課題解決に取り組んでいる、東北有数の農業生産法人です。
締結された協定は、境町の農業者が米の生産調整の廃止や農産物貿易の自由化の動きに対応し、加工や物流を含めた視点で農業の可能性を探り、後継者の確保につなげていく狙いをもって行われたものです。具体的には、新規事業として、①農業の担い手を育成する「農業新時代の次世代型人材育成支援事業」、②繁忙期の人手不足を解消するためのネットワークである「農業サポーター制度支援事業」、③ドローン（小型無人機）を使った農業の効率化・精密化を図る「農業ドローン支援制度」の3つの施策に取り組んでいきます。
今後、同様に様々なノウハウを指導していただきます。

町の農業活性化へ向けた期待の改革!



3 農業ドローンで作業の効率化



1 農業経営者を育成

2 繁忙期の人手不足を解消